

制御不能。



# トータスの旅

Journey of The Tortoise



木村知貴 諏訪瑞樹 川瀬陽太 湯舟すびか Tadashi Nagayama Film

竹中友紀子 柳谷一成 大宮将司 たくしまけい 近藤善樹 小田篤 上山学 竹下かおり 田中一平 岡本裕輝 濱利江 山口陽二郎

監督・脚本・編集 永山正史 / 製作 武田祥 / 共同脚本 鈴木由理子 / 音楽 石川江里也 / 助監督 吉田雅一 藤井謙 / 撮影 神野蒼見 / 照明 建部孝一 / 録音 山田晋 / DIT 森脇由二 / 脚本協力 山下和徳 木下雄介

2016 / 82分 / HDV, 8mmFilm / 2.35:1 ©Tadashi Nagayama & Sho Takeoka

どんな気狂いだっていい

いつものように喧嘩から始まる父子の朝。そこへ音信不通だった兄が婚約者と共に姿を現す。今から結婚式を挙げるため、ある島に渡るのだという。ペットの亀と共に強引に連れ出され、会社も学校もさぼって父と子の旅は始まる。道を外れながら進む珍道中は、やがて死者の影を纏ってゆく。



**次郎 (木村知貴)**  
妻を亡くし、反抗期の息子に手を焼いている。ペットの亀だけが心の支え。



**登 (諏訪瑞樹)**  
次郎の息子。学校をさぼって勉強に励む。父も家も学校も何もかも嫌い。



**亀 (ケビン)**  
メタファーなんかじゃない、メインキャスト。亀から目を離すな!



**新太郎 (川瀬陽太)**  
次郎の兄。赤いズボンがよく似合う自称芸術家。自由奔放、暴走あるのみだが、いつの間にか物語は彼に導かれてゆく。



**直子 (湯舟すびか)**  
新太郎の婚約者。愛車の古いパジェロがきっかけで、新太郎と恋に落ちる。

### 注目の二大俳優競演

主演は次世代の新鋭監督に今一番愛される役者、木村知貴『SHARING』『湯を沸かすほど熱い愛』(2016)。本作で第10回 田辺・弁慶映画祭・男優賞、第17回 TAMA NEW WAVE・ベスト男優賞受賞。兄役には『ローリング』(2015)で日本映画プロフェッショナル大賞・男優賞の川瀬陽太『シン・ゴジラ』(2016)、『バンコクナイツ』(2017)。本作では狂気と暴力を孕みながら、弟への純な思いが伝わる謎の兄貴を怪演。

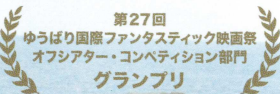
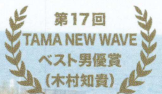
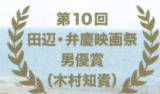
### 物語を代弁する名曲たち

エンディングテーマ「だからここに来た」岡林信康&はっぴいえんど  
挿入曲「何もないのです」よしだたくろう  
クライマックスで木村知貴が熱唱するのは、映画のモチーフにもなった中島らもの代表曲。誰よりも優しく激しい歌声は、無様に道から外れること、正気じゃいられないことを全身で肯定し、スクリーンを越えて窮屈な時代に突き刺さる。

体当たり演技という言葉がある。この安易な誉め言葉を目にする度、なんじゃそりゃ、大島渚の『少年』に出てくる当たり屋のことか、と内心毒づいてきた。すまなかった、と思う。世の中には本当に「体当たり演技」というものが存在しえるのだとこの映画の木村知貴を見て初めて知った。単に肉体を酷使し、ナルシスティックに酔い痴れる演技のことではない。人物の履歴を書き、頭で理解するのではなく、いろいろ考えたあげくに、未知の時間と場所に身を置いて、虚空へ跳躍する。本来、演技ってものはそういうものかも知れない。木村知貴はじめ、俳優陣たちの肉体から発せられる叫びが多くの人に届きますように。映画監督・篠崎 誠

この映画は傑作である。必見である。亀が主人公である。日常の闇に捉えられ、もがいている父親とその子供。そしてとてもイメージに向かって突っ走る父親の兄。亀にいざなわれる様に旅に出る親子は、その闇を抜け出ようと本音で戦いを始める。彼らが再び新しい旅を始めた時、亀は、その行く末をじっと見つめている。  
撮影監督・堀田 泰寛  
『日本の悪霊』『ヒボクラテスたち』

永山正史監督作品



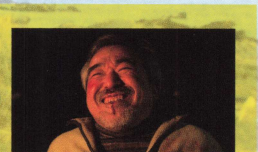
# トータスの旅

田辺・弁慶映画祭セレクション2017 テアトル新宿 20:50～上映開始

- 4月29日(土)「トータスの旅」上映+スタッフ・キャスト舞台挨拶(上映前)
- 5月3日(水)「トータスの旅」上映+トータスの旅スペシャルライブ(出演 木村知貴 石川江里也)
- 5月7日(日)「飛び火」、「本当の心霊動画 呪」、「THEY STILL LIVE」(篠崎誠監督)上映+篠崎誠監督トークショー(予定)
- 5月9日(火)「飛び火」、「サミルガー」(葛哲一朗監督)他上映+葛哲一朗監督 トークショー
- 5月12日(金)「トータスの旅」上映+スタッフ・キャスト舞台挨拶(上映後)

前売り券 1,100円(税込) 詳細は劇場まで

\*料金:一般、大専 1,300円・水曜サービスDAY1,100円 \*各種割引適用可\*招待券使用可・優待券初日、2日目のみ使用不可  
\*キネマ旬報社主催:映画検定1~4級の方、証明書持参で1,000円\*リピーター割:半券のご提示で200円引き(一般、大専のお客様が対象)



同時上映作品

### 「飛び火」

田舎の山村。夜道、青年は親切なオジサンに出会う。

第34回  
びあフィルムフェスティバル  
入選作品

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館階 B1F

〒 160-0002 東京都新宿区

テアトル新宿

03 (3352) 1846 www.ttcg.jp